

《一》次の文章を読み、後の問いに答えなさい。

社会で起きている出来事は、なぜ伝えられなければならないのだろうか。それはぼくたちが自分の周りの世界を理解するためだ。ぼくら一人ひとりが自由に自立した存在であるため、そして自分で物事を判断できるように、必要と思われる情報は発信されるのだ。

A、大ヒット中のアニメ映画。ぼくらの中で話題になる。最初の感想は「おもしろかった」の一言かもしれない。次に、どこがなぜおもしろいのかを考える。「あのシーンはジーンときた」「音楽がよかった」とぼくらは映画論議を楽しむ。どうしてヒットしたのか、という疑問も湧いてくる……。

でもそこから進むには、さらに情報が必要だ。B、考えを深めるには情報という「刺激」「糧」「テコ」がなければならぬからだ。

①情報が追加されることで考えが進み、深まる。思考が飛躍する。無から有は生まれないとはい換えてもいい。例えば、自作の歌詞が評価され、ミュージシャンがノーベル文学賞をもらった。そのニュースは驚きとして受け止められた。ミュージシャンの名前は初めて聞いたけど、何が驚きなのだろうか。調べてみると、歌詞が文学といえるのかで論争が起きていた。確かに文学といえれば小説や詩と思っていた。でも歌詞も文学なんて素敵じやないかと思って、そのミュージシャンの歌詞を読んでみる……。

情報は思考を飛躍させるテコといったが、批判的な記事や批評に出くわすこともある。そこでぼくらは二手に別れる。気に入っていた映画や音楽をチクリと刺すような内容に腹が立ち、ページを閉じてしまうかもしれない。テコが逆作用するケースだ。反対に、ぼくらはもっと知りたくなるかもしれない。テコの力が倍加する時だ。

例えば、駅前のデパートが閉店するニュースで地元で衝撃が走っている。そういえば自分もそのデパートに行っていない。どうしてなのかな？ 若者は郊外のショッピングモールにある値段が手頃てうらの専門店に行くように

なったのが理由の一つと、ある情報誌に書かれていた。「そういえばそう。それに自分はネット通販はんを利用したりして大部分の買い物を済ませているし」。自分のようなショッピングスタイルがデパートを閉店に追い込んだのかも知れない……。

情報を得て、少し考えるだけでも世の中の仕組みの一端たんがわかってくる。もしも情報が入ってこなかったら、ぼくらは自分たちがどういう世界に生きているのか知らないまま、ボンヤリと日々を過ごしていたかもしれない。でももう、ぼくらは集落ごとに孤立こして暮らしていた時代には戻もれないのだ。

それだけでない。ぼくらには決断しなければならぬ時がある。その時、ぼくらはいろいろな情報を集めなければいけない。そうしないと、② 取り返しのつかない事態になるかもしれない。

選挙を例に考えてみよう。民主主義社会では、政治についての決定権は最終的にはぼくたち市民が担になっている。選挙で投票に行き、この政党がいい、この候補者はダメなどと考えて一票を投じる。その結果にぼくらは責任を負わなければならない立場でもある。

そのためには、判断材料となる情報がほしい。その情報を基もとにして論議することも必要だ。

「投票の時にあんな人だと知っていれば、あの候補者に一票をいれなかったのに」と後悔かすることもある。それだけではない。その判断ミスが取り返しとのつかない事態を招くかもしれない。ぼくらの快適な生活を③ むしばむことになることだってあり得るのだ。

大津波で全電源を喪失そうして、原子炉そがメルトダウンした福島第1原発。「原発は安全だ」という神話にジャーナリストも含め多くの人が思考停止させられて起きた事故とも言える。溶け落ちた核燃料かくを取り出すのにこれから何十年もかかる。そして途方もないお金を必要とする大惨事さんになってしまった。

アメリカのイギリスからの独立を呼びかけたイギリス人哲学者トマス・ペイン（1737-1809）は、④ 人

びとが立派に国を治めるには正しい情報がきちんと伝えられなければならない、と述べている。

ぼくらは、どうしても情報に対して受け身になりがちだけれど、どういう情報が欲しいか、知りたい情報がオープンになっているか探していくくらいの心構えで世の中を見渡していこう。そうでないと、当たり障りのない情報に時間を取られたり誤魔化されたりするばかりだ。

政府や警察、市役所などが持っている情報は、もともとぼくたち市民のものだ。政府も警察も役所もみな市民のための機関、情報の主権者はぼくたちなのだ。ぼくたちには、自分たちに関わることについて知る権利がある。国民には「知る権利」があるのだ。

その「知る権利」を行使して、情報を人びとに代わって取ってきて、みんなに伝えて共有するのが、ジャーナリズム、<sup>⑤</sup>ジャーナリストの役割だ。

新聞、テレビなどはメディア（媒体）とも呼ばれ、情報を乗せてきまたちのところに運ぶ。情報を水とすると水道管にあたる。不特定多数の人びとに大衆（マス）に情報を伝えるのでマスメディアとも、マスコミ（マスコミュニケーション）とも言われている。

今ではインターネットも媒体の一つとして存在感を示している。こちらはマスメディアではなく、ネットメディア、ソーシャルメディアといわれている。

30〜40年ほど前は「テレビを見れば新聞はいらない？」という問いがやっていた。最近「ネットでニュースを読めば、新聞、テレビはいらない？」という設問に取って代わっている。ニュースを伝えるメディア技術の進歩、発展の結果だ。

C、ジャーナリストはただ単に、情報を右から左に伝えているのではない。役所の発表や新しい政策に問題点がないか、あれば指摘する姿勢を持って伝えているんだ。批判的な目で分析するのがジャーナリズム精神と

いわれるもの。「政府が右と言ったものを（左だと思っても）左と言えない」ようではジャーナリスト失格だ。  
（三浦準司『人間はだまされる——フェイクニュースを見分けるには——』理論社）

問一、文中の 

A
---

↘
---

C
---

 に入れるのに最もふさわしい言葉を次のア～エの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア、でも      イ、例えば      ウ、つまり      エ、なぜならば

問二、——線部①とありますが、デパートの例において追加された情報とは何ですか。文中の言葉を使って五十字以内で答えなさい。

問三、——線部②とありますが、その具体例が書かれた段落を探し、初めの五字で答えなさい。

問四、——線部③とありますが、これはどのような意味ですか。最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア、みんなに見捨てられること
- イ、誰もが見落としてしまうこと
- ウ、すべてをこわしてしまうこと
- エ、少しずつ悪くすること

問五、——線部④とありますが、それはなぜですか。その理由を説明した次の文の□にあてはまる言葉を文中から四字でぬき出しなさい。

正しい情報を□にする必要があるから。

問六、——線部⑤とは何ですか。その説明として最もふさわしいものを次のア～エの中から選び、記号で答えなさい。

- ア、情報の主権者は自分たちであることを自覚し、国民に知る権利を意識させること。
- イ、発表されたことや政策に問題点がないか批判的な目で分析し伝えること。
- ウ、メディア技術の進歩や発展に注意し、疑う気持ちを持って情報を伝えること。
- エ、不要な情報やあいまいな情報にまどわされないように注意をうながすこと。

問七、筆者は、日ごろから私たちがどのような姿勢で情報と向き合うべきだと考えていますか。文中から一文でぬき出し、初めの七字で答えなさい。

問八、次の1～4のうち、本文の内容と合っているものに○、合っていないものに×をつけなさい。

- 1、かつての孤立した世界とはちがいで、自分の生きる世界を知るには情報が必要である。
- 2、安全神話によって問題点が見えにくくなり、大惨事を引き起こした。
- 3、政府や警察は自分たちの持っている情報を公表したがらない。
- 4、新聞やテレビ、インターネットはマスメディアとも呼ばれ、不特定多数の人に情報を伝えている。

問九、「ネットでニュースを読めば、新聞、テレビはいらない」という意見に対して、あなたはどうか考えますか。まず、「賛成」「反対」を明らかにした上で、その理由を説明しなさい。

《二》 次の1～5の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。

- 1、手紙をユウソウする。
- 2、本をアズかる。
- 3、事件を公正にサバく。
- 4、期待にコタえる。
- 5、妻子をヤシナう。

《三》 次の1～5の——線部の漢字の読みをひらがなで答えなさい。

- 1、食事を改善する。
- 2、外国に亡命した。
- 3、空き時間に勉強する。
- 4、著名な人物。
- 5、九月半ばなのに暑い。

《四》 次の1～5の( )に入る言葉をIのア～オの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。また、その意味としてふさわしいものをIIのカ～コの中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- |             |          |          |
|-------------|----------|----------|
| 1、( ) のひとこえ | 2、( ) の子 | 3、( ) の額 |
| 4、( ) が合う   | 5、( ) 返し |          |

I ア、馬 イ、とら ウ、つる エ、おうむ オ、ねこ

II カ、せまい場所や空間

- キ、権威者の一言で決着がつくこと
- ク、おたがいの気持ちや性格があうこと
- ケ、相手が言った言葉をそのまま繰り返すこと
- コ、大切にされていて手放せないもの

《五》 次の1～4のA～オの中から、性質の異なる言葉をそれぞれ一つ選び、記号で答えなさい。

- |         |        |        |        |        |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| 1、ア、暑い  | イ、早い   | ウ、遠い   | エ、思い   | オ、おいしい |
| 2、ア、歩く  | イ、あらゆる | ウ、打つ   | エ、話す   | オ、見る   |
| 3、ア、友人  | イ、大阪   | ウ、雪国   | エ、一番星  | オ、案外   |
| 4、ア、つまり | イ、すなわち | ウ、けれども | エ、なぜなら | オ、まったく |

《六》 次の1～4の——線部の言葉に注意して、□にあてはまるひらがなを答えなさい。

- 1、たとえ反対され□□あきらめない。
- 2、絵を描くのがうまく、まるで画家の□□□。
- 3、君ならきつとうまくやる□□□。
- 4、もし雷が鳴っ□□、すぐ避難しなさい。

《七》 次の 1・2 にあてはまる熟語を後のア～コの中からそれぞれ二つずつ選び、記号で答えなさい。

- 1、上下が反対の意味である。
- 2、上下が同じような意味である。

ア、年長	イ、表現	ウ、利害	エ、外国	オ、親友
カ、不足	キ、断続	ク、身体	ケ、速記	コ、国立